

取扱説明書

AirView[®] Quad-X

3G-324M対応ビデオ転送/遠隔制御装置

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では次のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。


注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。




注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

著作権・商標について

本製品は、イーソル株式会社のソフトウェア PrKERNELv4®、BSP ならびに PrFILE® を使用しています。

FOMA は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

AirView、EIZO は株式会社ナナオの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright© 2006 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

もくじ

使用上の注意.....	4
1. はじめに.....	8
1-1. 梱包品の確認.....	8
1-2. 各部の名称と機能.....	8
2. 本製品でできること～使用方法と機能概要～.....	12
2-1. 使用方法.....	12
2-2. 設定 / 機能一覧.....	14
3. 接続と準備.....	16
3-1. 必要なものを用意する.....	16
3-2. 機器を接続する.....	17
3-3. カード型 FOMA を装着する.....	19
3-4. 電源に接続する.....	19
3-5. Quad-X の日時を設定する.....	20
4. Quad-X の設定.....	21
4-1. 設定メニューを使う.....	21
4-2. Quad-X 本体ボタンを使う.....	37
4-3. リモコンの機能ボタンを使う.....	40
5. 携帯電話からの Quad-X 操作.....	44
5-1. 携帯電話から Quad-X に接続した機器の映像を見る.....	44
5-2. 携帯電話から通話中の Quad-X を操作する.....	45
6. 活用事例.....	49
6-1. キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する.....	49
6-2. テレビ会議システム.....	51
7. 故障かなと思ったら.....	52
8. お手入れ.....	54
9. 仕様.....	55
10. アフターサービス.....	56

使用上の注意

重要

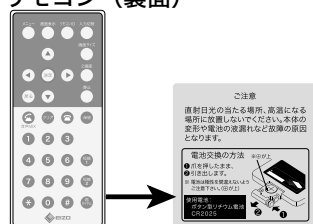
- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】

本体（底面）



リモコン（裏面）



警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



製品を分解・改造しない

分解・改造は、火災や感電、故障の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



使用を禁止された区域（病院など）に設置しない

本製品は PC カード型 FOMA 端末を組み合わせるため、植込み型心臓ペースメーカや医療電気機器などに影響を及ぼす場合があります。必ず PC カード型 FOMA 端末の取扱説明書の指示に従ってください。



警告

周辺に液体を置かない

本製品内部に液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に設置する

不安定な場所に設置すると、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には設置しない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 付属の電源コード / 電源アダプタは日本国内 AC100V 専用品です。
- 付属の電源コード / 電源アダプタ以外は使用しないでください。
- 付属の電源アダプタは本製品専用のものです。他の機器には使用しないでください。



次のような誤ったセンサー接続をしない

誤った接続は火災、感電の原因となります。

- センサー入力端子は、接続機器のショート・オープンを検知するものです。端子に高い電圧を加えないでください。
- 本製品の制御出力の最大制御は、DC30V、1A 以下です。それ以上の接続はしないでください。



電源コード / 電源アダプタを傷つけない

電源コード部分および電源アダプタの本体部分に重いものをのせる、コード部分を引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源アダプタ / 電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや電源アダプタ、コードには触れない感電の原因となります。



警告

ボタン電池の取り扱いに注意する

- リモコンに使用している電池を交換する場合は、必ず以下の型番の電池を使用してください。
ボタン型リチウム電池型番：CR2025
- ボタン電池の交換は正しくおこなってください。正しく交換しないと爆発を起こす恐れがあります。
- ボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。窒息や中毒の原因となります。
- 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- ボタン電池を捨てるときはその地域の「ボタン電池回収箱」などへ入れてください。
- 金属製のピンセットなどで電池をつかまさないでください。ショートして高温になり、やけどの恐れがあります。
- 分解や加熱をしたり、水の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの恐れがあります。



注意

通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 背面（コネクタ部）を下にして置かない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグや電源アダプタに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源アダプタ使用中は高温となるので注意する

- 電源アダプタの上にものを置いたり、かぶせたりしないでください。また電源アダプタをじゅうたんや布団など、熱がこもるものの上に置かないでください。電源アダプタはストーブなどの熱源や直射日光から遠ざけてください。火災の原因となることがあります。
- 素手で触れないでください。やけどの原因となることがあります。



電源アダプタは宙吊りのまま使用しない

宙吊りのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。



注意

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



その他の注意事項

<携帯電話、PC カード型 FOMA 端末の料金について>

本製品を利用するには、使用する PC カード型 FOMA 端末の契約に応じた月額基本使用料および通話時間に応じた通話料などが必要となります。

- 通話料について
 - － 本製品では通話（映像表示）時に通話時間に応じて課金されるデジタル通話料が適用されます。
 - － 携帯電話より本製品に電話をかけた場合は、携帯電話に通話料が発生します。また、本製品から携帯電話に電話をかけた場合は、本製品に装着している PC カード型 FOMA 端末に通話料が発生します。

<登録した情報内容について>

本製品に登録した情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。万一、登録した情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

<本製品の営利目的での使用について>

本製品は MPEG-4 技術を使用しています。本製品を営利目的で使用する場合、MPEG-4 技術に関わるライセンス費用などが発生する場合があります。

<本製品の利用について>

本製品を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などをおこなった場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

本製品を利用して画像送信をおこなう際は、プライバシーなどにご配慮ください。

1. はじめに

このたびは、AirView Quad-X をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 梱包品の確認

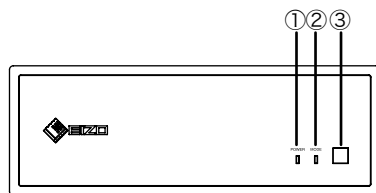
下記のものすべてが入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- Quad-X 本体
- 電源コード 1.5m
- リモコン
- 取扱説明書
- 電源アダプタ (TAS0402) 2m
- 信号ケーブル (RCA-RCA:モノラル) 1.5m
- センサーコネクタプラグ
- 保証書

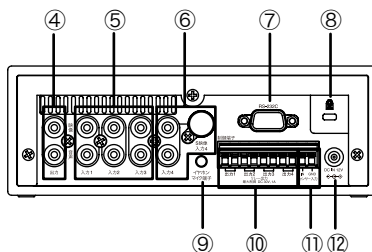
1-2. 各部の名称と機能

本体

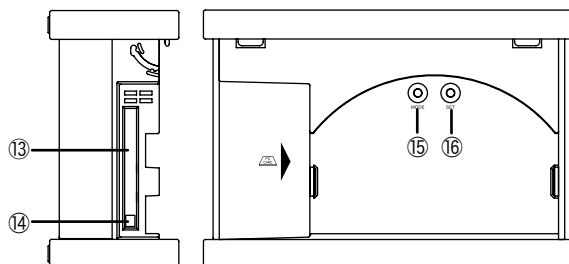
前面



背面



カバー内



前面

- ① POWER ランプ： 発信状態を示します。
- ② MODE ランプ： 着信状態および通話中を示します。

	赤色点滅	赤色点灯	緑色点灯	オレンジ色点灯	無灯
POWER	内部エラー	—	発信機能：オン（有効）	発信機能：オフ（無効）	—
MODE	内部エラー	通話中	待受状態		着信許可設定：「手動」
			着信許可設定：「登録番号のみを許可」（着信制限あり）	着信許可設定：「すべての番号を許可」（着信制限なし）	

- ③ リモコン受光部

背面

- ④ 映像 / 音声出力端子（出力）
- ⑤ 映像 / 音声入力端子（入力 1 ～入力 3）
- ⑥ 映像・S 映像 / 音声入力端子（入力 4） * S 映像入力優先（17 ページ）
- ⑦ シリアルコネクタ（RS-232C）
- ⑧ 盗難防止用ロック穴： 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
- ⑨ イヤホンマイク端子： イヤホンマイクなどのハンズフリー機器を接続します。（ハンズフリー機器を接続すると、通話先への送信音声は音声入力端子に入力されている音声からハンズフリー機器の音声に切り替わります）

注意点

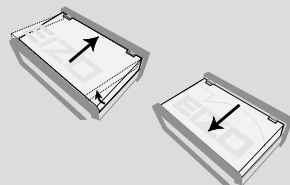
- この端子はイヤホンマイクなどのハンズフリー機器専用です。それ以外の機器は接続できません。
- ⑩ 制御出力端子（出力 1 ～出力 4）
- ⑪ センサー入力端子
- ⑫ 電源ジャック

カバー内

- ⑬ PC カードスロット
- ⑭ EJECT ボタン： PC カード型 FOMA 端末を取り出すときに使用します。
- ⑮ MODE ボタン： 各種設定をおこなうときに使用します。
- ⑯ SET ボタン： 各種設定をおこなうときに使用します。

カバーは、閉めた状態で前後にスライドします。

- 開けるときは
背面側にスライドさせて開けてください。
- 閉めたあとは
前面側にスライドさせて、カバーをロックしてください。更に、カバーをロックした状態で盗難防止用ロック（上記⑧参照）をかけると、カバーを開けられないようにすることができます。



リモコン

表示装置（テレビなど）に日付や時刻、通話先、通話時間などを表示します。

本リモコンと Quad-X 本体の ID 番号を表示します。また、リモコンの ID 番号を変更する際にも使用します。

設定メニューを表示 / 終了します。

設定メニューの項目を決定（確定）する際に使用します。

設定メニューの項目を選択する際に使用します。

設定メニューの操作をキャンセルし、一つ前の画面に戻ります。

入力した文字・数字を消す際に使用します。

発信 / 通話を開始します。また、イヤホンマイク端子にハンズフリー機器が接続してある場合、ボタンを押すことに、通話先への送信音声を「ハンズフリー機器の音声のみ⇄外部音声入力との MIX」に切り替えます。

電話番号や数字の入力に使用します。

通話先に送信する映像入力を切り替えます。ボタンを押すごとに「入力 1 → 入力 2 → 入力 3 → 入力 4 → 4 分割画面・・・」の順序で切り替わります。なお、信号が入力されていないポートはスキップされます。

表示装置に表示される画面を切り替えます。ボタンを押すごとに、「送信 / 受信画面の 2 画面 → 送信画面のみ → 受信画面のみ・・・」の順序で切り替えます。

表示装置に表示される子画面を表示 / 消去します。

表示装置に表示される通話先からの映像を静止 / 解除します。

通話先への映像・音声の送信を一時停止 / 再開します。停止中は代替画像を送信します。

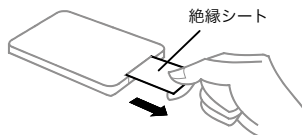
通話を終了します。

あらかじめ設定された電話番号を呼び出します。設定は、設定メニューでおこないます。

前回発信した電話番号を呼び出します。（自動発信を除く）

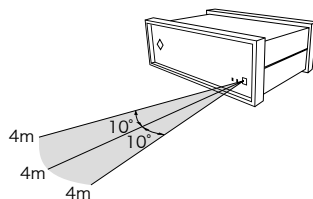
リモコンをご使用になる前に

絶縁シートを引き抜いてください。電池はあらかじめ入っています。



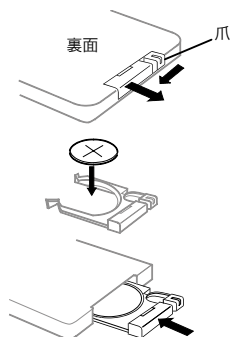
リモコンの受信範囲

リモコンは、右図の範囲内から操作してください。



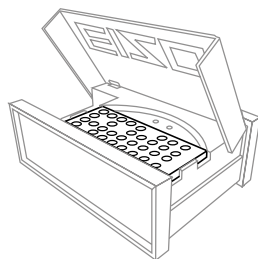
リモコン電池交換のしかた

1. 爪を矢印の方向に押しながら、電池ケースを引き出します。
2. 「+ (プラス)」側を上にして、電池を入れます。
3. カチッと音がするまで電池ケースを差し込みます。
(電池型番：CR2025)



リモコンの収納について

リモコンを使用しないときは、本体カバーの内側に収納しておくことができます。



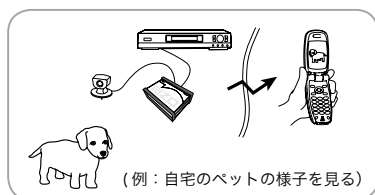
2. 本製品でできること～使用方法と機能概要～

2-1. 使用方法

AirView Quad-X は、次のように使うことができます。使用方法に応じて、それぞれ「セットアップ」をおこない、携帯電話と組み合わせてご利用ください。

[1] 携帯電話から Quad-X に接続した機器の映像を見る (テレビ電話)

携帯電話から Quad-X に装着したカード型 FOMA に電話をかけると、接続したカメラ / AV 機器などの映像を見ることができます。



セットアップ...

- ① 接続と準備..... 16 ページ
- ② 設定 / ・着信許可 24 ページ
 - ・着信許可番号
 - ・通話時間制限
 - ・着信許可時間

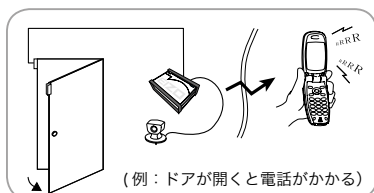
携帯電話からの操作...

- 映像を見るときは 44 ページ
- 視点移動 / 明るさ / 鏡像 / 入力切替設定 45 ページ

[2] Quad-X 側の変化を検出して携帯電話に電話をかける (センサー発信)

Quad-X が以下のような変化を検出すると、自動的に発信先として登録してある携帯電話に電話をかけ、設置したカメラの映像などを送るようになります。

- 接続したセンサーの状態変化 (センサー入力検出)
- 設置したカメラに映る画像の変化 (動き検出)

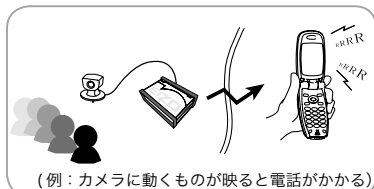


セットアップ...

- ① 接続と準備..... 16 ページ
- ② 設定 / ・発信 28 ページ
 - ・発信先
 - ・センサー入力トリガー
 - ・動き検出感度
 - ・検出画像表示
 - ・発信許可時間
 - ・リダイヤル回数

携帯電話からの操作...

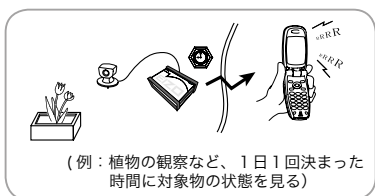
- 機能のオン / オフ切替 45 ページ



本製品にテレビ電話対応 PC カード型 FOMA 端末（以降「カード型 FOMA」と記します）を装着すると、本製品と携帯電話が手軽に通話できるようになります。

[3] 定期的に Quad-X から携帯電話に電話をかける（アラーム発信）

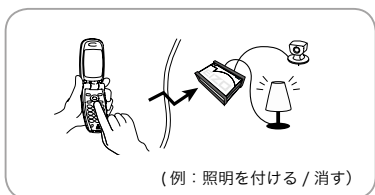
設定した時刻になると、自動的に発信先として登録してある携帯電話に電話をかけ、設置したカメラの映像などを送るようになります。



セットアップ...	① 接続と準備.....	16 ページ
	② 設定 / 発信.....	32 ページ
	・ 発信先	
	・ リダイヤル回数	

[4] Quad-X に接続した外部機器を携帯電話から操作する（外部機器制御）

センサー入力対応外部機器を接続すると、通話中の携帯電話から外部機器を操作することができます。



セットアップ...	① 接続と準備.....	16 ページ
	② 設定 / 通話連動制御.....	34 ページ
	・ パルス出力	

携帯電話からの操作...	● 制御操作.....	45 ページ
---------------------	-------------	--------

● 発信機能の優先順位について


- 通話中に、センサー発信またはアラーム発信機能が動作した場合は、通話を切断して、発信先として登録してある携帯電話に電話をかけます。
- センサー発信中に、アラーム発信時刻になった場合は、センサー発信終了後に、アラーム発信がおこなわれます。
- アラーム発信中に、センサー発信機能が動作した場合は、アラーム発信を中断して、センサー発信先に電話をかけます。

2-2. 設定 / 機能一覧

本製品に搭載されている設定 / 機能は次のとおりです。

設定方法など詳細については、「4. Quad-X の設定」(21 ページ) をご覧ください。

設定メニューでの設定

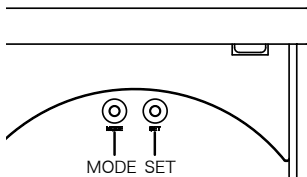
(設定メニューは、リモコンの  を押すと表示されます)

メインメニュー	サブメニュー	設定内容	参照ページ
テレビ電話	着信許可※1	携帯電話との通話設定をおこないます。	24 ～ 27
	着信許可番号※1		
	通話時間制限		
	着信許可時間		
	短縮番号	リモコンの短縮ボタンに電話番号を割り当てます。	27
センサー発信	発信※1	センサー発信の設定をおこないます。	28 ～ 31
	発信先		
	センサー入力トリガー		
	動き検出感度		
	検出画像表示		
	発信許可時間		
	リダイヤル回数		
アラーム発信	発信	アラーム発信の設定をおこないます。	32 ～ 33
	発信先		
	リダイヤル回数		
外部制御	通話連動制御	外部機器の設定をおこないます。	34
	パルス出力		
	カメラ※2	カメラの設定をおこないます。	50
	カメラプリセット※2		
履歴	発信履歴	発信履歴を表示します。	35
	着信履歴	着信履歴を表示します。	35
管理	電話番号表示	現在装着されているカード型 FOMA の電話番号を表示します。	35
	日付・時刻	Quad-X の日付と時刻を設定します。	20、35
	リモコン ID	Quad-X 本体の ID 番号を変更します。	35
	DTMF 操作	携帯電話からの DTMF 操作と同様の操作がリモコンでできるようになります。	35
	DTMF 制限	携帯電話から Quad-X への DTMF 操作を制限します。	36
	デフォルト映像入力	Quad-X との通話開始時に映る映像入力を設定します。	36
	通話中アイコン表示	Quad-X との通話中、携帯電話に表示されるメニューやメッセージを表示 / 非表示します。	36
	鏡像	入力された映像を鏡像モードに設定します。	36

※1 これらの設定は Quad-X 本体ボタンでも操作できます。

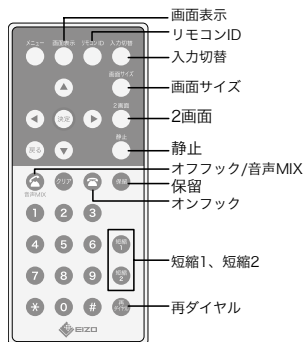
※2 キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する場合に設定します。

本体ボタンでの設定



ボタン名	設定内容	参照ページ
MODE	(3秒以上押す) 着信許可の設定ができます。	38
	センサー発信機能をオン/オフできます。	39
SET	着信許可番号を登録できます。	38
	(3秒以上押す) センサー発信の発信先を設定できます。	39
MODE と SET	(同時に3秒以上押す) Quad-Xの設定をすべて初期設定(工場出荷状態)に戻します。	39

リモコンボタンの機能



リモコンボタン名	機能説明	参照ページ
画面表示	表示装置に日付や時刻、通話先、通話時間を表示します。	41
リモコンID	表示装置にリモコンとQuad-X本体のID番号を表示します。	41
入力切替	通話先に送信する映像入力を切り替えます。	41
画面サイズ	表示装置に表示される画面を切り替えます。	42
2画面	表示装置に表示される子画面を消去/表示します。	42
静止	表示装置に表示される通話先からの映像を静止/解除します。	42
オフフック/音声MIX	一発信/通話を開始します。 イヤホンマイクなどのハンズフリー機器が接続してある場合は、送信音声を切り替えます。	42
保留	映像・音声の送信を一時停止/再開します。	42
オンフック	通話を終了します。	43
短縮1、2	あらかじめ設定された電話番号を呼び出します。	43
再ダイヤル	前回発信した電話番号を呼び出します。(自動発信を除く)	43
◀ ▶	明るさ設定画面を表示します。	43

3. 接続と準備

3-1. 必要なものを用意する

はじめに、次のものを用意してください

- Quad-X 本体
- 電源アダプタ
- 電源コード
- リモコン
- 信号ケーブル
- 表示装置※¹
- カード型 FOMA ※²
- 携帯電話※²

※¹ テレビなど、RCA ケーブルで Quad-X と接続できる機器を用意してください。

※² 本製品で使用できるカード型 FOMA、携帯電話は次のとおりです。
(製品の購入については販売店にお問い合わせください)

- カード型 FOMA
 - NTT DoCoMo テレビ電話対応 PC カード型 FOMA 端末
- 携帯電話 (3G-324M 対応機種)
 - NTT DoCoMo テレビ電話対応 FOMA

次に、使用方法に応じて用意してください

使用方法	用意するもの
[1] 携帯電話から Quad-X に接続した機器の映像を見る (テレビ電話)	<input type="checkbox"/> カメラ /AV 機器
[2] Quad-X 側の変化を検出して携帯電話に電話をかける (センサー発信)	<ul style="list-style-type: none">● センサー入力検出の場合<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> センサーコネクタプラグ<input type="checkbox"/> ON/OFF 型のセンサー※¹<input type="checkbox"/> カメラ● 動き検出の場合<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> カメラ
[3] 定期的に Quad-X から携帯電話に電話をかける (アラーム発信)	<input type="checkbox"/> カメラ
[4] Quad-X に接続した外部機器を携帯電話から操作する (外部機器制御)	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> センサーコネクタプラグ<input type="checkbox"/> センサー入力対応外部機器※¹<input type="checkbox"/> カメラ※²

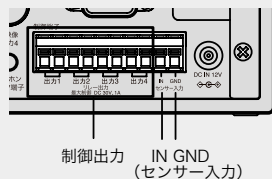
※¹ 使用可能なセンサーに関する情報については EIZO ホームページを参照してください。

※² 外部機器の状態を確認する場合に用意してください。

● センサー入力端子 / 制御出力端子について

各ピンの機能

ピン	仕様
センサー入力端子	IN ・ 接続する機器側の端子の仕様が DC5V/1.5mA 以上の耐圧 / 容量を備えていること (開放電圧 DC5V、最大入力電圧 DC30V) ・ 変化パルス幅 100msec 以上入力のこと
	GND 接地端子
制御出力端子	リレー出力 ・ 最大印加電圧：DC30V ・ 電流：最大 1A



コネクタケーブルの仕様

電線	単線	26 ~ 18AWG
タイプ	撚線	22 ~ 20AWG
被覆を剥ぐ長さ		9mm

センサーの配線条件

配線長	片道 100m 以下
配線回路抵抗	100 Ω 以下

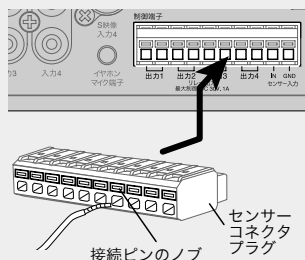
コネクタケーブルの接続方法

[取り付け]

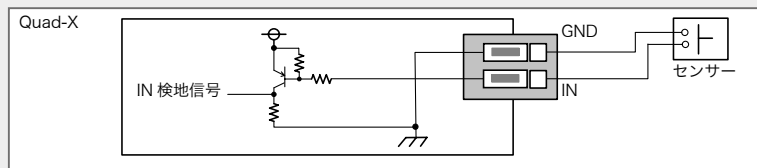
マイナスドライバーなどを使って、接続ピンのノブを押しながら、先端部の被覆を剥いたケーブルを端子に差し込みます。その後、センサーコネクタプラグを Quad-X 本体に差し込みます。

[取り外し]

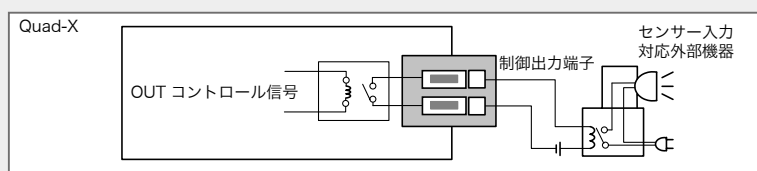
ノブを押しながら、ケーブルを手前に引っ張り、取り外します。



センサーの接続例

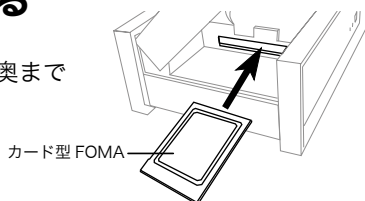


センサー入力対応外部機器の接続例



3-3. カード型 FOMA を装着する

カード型 FOMA を PC カードスロットに奥までしっかりと挿入します。

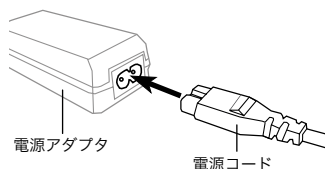


注意点

- カード型 FOMA を取り出すときは、次の手順に従ってください。
 - 1) 電源プラグを電源コンセントから外します。
 - 2) Quad-X の電源が切れていることを確認します。
 - 3) EJECT ボタンを押します。

3-4. 電源に接続する

1. 電源アダプタに電源コードを接続します。
2. 電源アダプタを電源ジャックに接続し、その後、電源プラグを電源コンセントに接続します。



警告

次のような誤った電源接続をしない

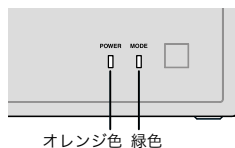
誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 付属の電源コード / 電源アダプタは日本国内 AC100V 専用品です。
- 付属の電源コード / 電源アダプタ以外は使用しないでください。
- 付属の電源アダプタは本製品専用のもので、他の機器には使用しないでください。



電源を入れてから約 30 秒後、Quad-X が待受状態（POWER ランプ：オレンジ色、MODE ランプ：緑色）になります。

（POWER ランプが赤色に点滅した場合は、「故障かなと思ったら」（52 ページ）をご覧ください）



注意点


- 携帯電話と通話中や Quad-X 本体のボタン操作中に電源プラグを抜かないでください。

3-5. Quad-X の日時を設定する

Quad-X に搭載されている設定メニューでおこないます。
設定メニューについては、21 ページをご覧ください。

注意点






- 設定メニューを使用するときは、表示装置の電源を入れ、Quad-X を接続した入力に切り替えておいてください。
- 設定メニューは、リモコンと Quad-X 本体の ID 番号が一致していないと操作できません。次の操作で ID 番号が一致していることを確認してください。

リモコンの ^{リモコンID}  を押します。
表示装置に Quad-X の日時と両者の ID 番号が表示されます。






(表示例)

2 0 0 6 年 0 3 月 2 4 日 (金) 1 7 時 1 6 分
A i r V i e w I D : 1
リ モ コ ン I D : 1

ID 番号が一致していない場合は、41 ページ「リモコン ID」を参照し、ID 番号を変更してください。


1. リモコンの ^{メニュー}  を押します。
表示装置にメインメニューが表示されます。
2.  で [管理] を選択し、 を押します。
[管理] メニューが表示されます。
3.  で [日付・時刻] を選択し、 を押します。
[日付・時刻] 画面が表示されます。

メインメニュー
テレビ電話
センサー発信
アラーム発信
外部制御
履歴
⇒ 管理

4.  ~  で年、月、日、時、分を入力し、
 を押します。
(項目の移動は、  を押します)
[管理] メニューに戻ります。

管理
電話番号表示
⇒ 日付・時刻
リモコンID
DTMF操作
DTMF制限
デフォルト映像入力
通話中アイコン表示
鏡像

日付・時刻
2006年04月15日 20時34分

5. ^{メニュー}  を押します。
設定メニューが終了します。

4. Quad-X の設定


4-1. 設定メニューを使う

操作のしかた

注意点








- あらかじめ、表示装置の電源を入れ、Quad-X を接続した入力に切り替えておいてください。
- 設定メニューは、リモコンと Quad-X 本体の ID 番号が一致していないと操作できません。(41 ページ「リモコン ID」を参照し、ID 番号が一致していることを確認してください)

1. 設定メニューの表示

リモコンの  を押します。
表示装置にメインメニューが表示されます。


メインメニュー
⇒ テレビ電話
センサー発信
アラーム発信
外部制御
履歴
管理

2. 設定

- 1)   で設定したい項目を選択し、 を押します。選択した項目のサブメニューが表示されます。
(サブメニュー表示がない項目もあります)
- 2)   で設定したい項目を選択し、 を押します。
- 3) 各設定をおこないます。
設定が終了したら、 を押します。
サブメニューに戻ります。

テレビ電話
⇒ 着信許可
着信許可番号
通話時間制限
着信許可時間
短縮番号

3. 終了

 を押します。設定メニューが終了します。



参考

- 設定メニューを表示して、何の操作もおこなわずに表示したままにしておくと、約 1 分後に自動的に消去されます。

設定項目一覧

設定メニューでは次の項目が設定できます。

各メニューでの設定方法については 24 ページ以降をご覧ください。

メインメニュー	サブメニュー	設定内容	初期設定 (工場出荷状態)
テレビ 電話	着信許可	着信許可を設定します。	「登録番号のみを許可」
	着信許可番号	着信を許可する電話番号を設定します。 (選択した電話番号へ電話をかけることもできません)	未登録
	通話時間制限	通話時間の制限時間を設定します。	「しない」
	着信許可時間	着信を許可する時間を設定します。	「設定しない」
	短縮番号	リモコンの  、  に電話番号を割り当てます。	未登録
センサー 発信	発信	センサー発信機能を設定します。	「しない」
	発信先	センサー発信する電話番号を設定します。	未登録
	センサー入力トリガー	発信の条件が「センサー入力検出」の場合に、発信するときのセンサーの状態を設定します。	「自動」
	動き検出感度	発信の条件が「動き検出」の場合に、検出する感度を設定します。	(入力1~4) すべて「3」
	検出画像表示	発信の条件が「動き検出」の場合に、通話開始時、携帯電話に動きを検出した時点の静止画像の表示 / 非表示を設定します。	(入力1~4) すべて「しない」
	発信許可時間	Quad-X からの発信を許可する時間を設定します。	「設定しない」
	リダイヤル回数	発信先が通話中などの理由で通話できなかった場合に、一定時間においてリダイヤルするときの回数を設定します。	「10」
アラーム 発信	発信	アラーム発信機能を設定します。	「しない」
	発信先	アラーム発信する電話番号を設定します。	未登録
	リダイヤル回数	発信先が通話中などの理由で通話できなかった場合に、一定時間においてリダイヤルするときの回数を設定します。	「10」

メインメニュー	サブメニュー	設定内容	初期設定 (工場出荷状態)
外部制御	通話連動制御	携帯電話との通話開始 / 終了時の外部機器の動作を設定します。	(制御出力端子 1 ~ 4) すべて 「しない」
	パルス出力	パルス出力時の外部機器の動作を設定します。	(制御出力端子 1 ~ 4) すべて 「ショート 1.0 秒」
	カメラ	キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する場合に、接続するカメラメーカーを設定します。	「キヤノン」
	カメラプリセット	キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する場合に、カメラが撮影するポジションをあらかじめ設定 (プリセット) します。	—
履歴	発信履歴	発信履歴を表示します。	—
	着信履歴	着信履歴を表示します。	—
管理	電話番号表示	現在装着されているカード型 FOMA の電話番号を表示します。	—
	日付・時刻	Quad-X の日付と時刻を設定します。	—
	リモコン ID	Quad-X 本体の ID 番号を変更します。	「1」
	DTMF 操作	携帯電話からの DTMF 操作と同様の操作がリモコンでできるようになります。	—
	DTMF 制限	携帯電話から Quad-X への DTMF 操作を制限します。	● カメラプリセット / カメラ操作 / 入力切替 / 鏡像切替 : 「制限しない」 ● 制御出力 1 ~ 4 操作 : 「制限する」
	デフォルト映像入力	Quad-X との通話開始時、携帯電話に表示される映像入力を設定します。	「なし」
	通話中アイコン表示	Quad-X との通話中、携帯電話に表示されるメニューやメッセージの表示 / 非表示を設定します。	「する」
	鏡像	入力された映像を鏡像モードに設定します。	(入力 1 ~ 4) すべて「オフ」

「テレビ電話」設定メニュー

テレビ電話
⇒ 着信許可
着信許可番号
通話時間制限
着信許可時間
短縮番号

⇒ [着信許可] 設定

Quad-X にかかってきた電話の着信許可の設定をおこないます。

- (1) で [着信許可] を選択し、 を押します。
[着信許可] 設定画面が表示されます。
- (2) で Quad-X にかかってくる携帯電話からの着信許可設定を選択し、 を押します。















設定	設定内容
登録番号のみを許可	<p>Quad-X に登録してある電話番号の携帯電話からのみ着信を許可します。(電話番号の登録については、25 ページ「着信許可番号の設定」をご覧ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 着信した電話番号が Quad-X に登録してある場合 自動で通話が開始されます。 ● 着信した電話番号が Quad-X に登録されていない場合 10 秒間着信中の状態 (MODE ランプ: 緑色点滅 / 表示装置: 「テレビ電話着信中」のメッセージが表示) となります。その間に次のどちらかの操作をすると、Quad-X に着信許可番号として登録され、通話できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ー リモコンの を押す ー Quad-X 本体の「SET」ボタンを押す (操作をおこなわないと 10 秒経過後に Quad-X が電話を切ります) ● 着信した電話番号が「非通知」の場合 Quad-X に着信できません。
すべての番号を許可	<p>すべての携帯電話からの着信を許可します。 携帯電話からの着信があると、自動で通話が開始されます。</p>
すべての番号を不許可	<p>Quad-X への着信を許可しません。 携帯電話からの着信があっても、Quad-X が電話を切ります。</p>
手動	<p>通話を開始するか、着信を拒否するかを電話がかかってくるたびに手動で操作します。</p> <p>携帯電話からの着信があると、着信中の状態 (MODE ランプ: 赤色点滅 / 表示装置: 「テレビ電話着信中」のメッセージが表示) となりますので、次の操作をおこなってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ー 通話を開始する場合: リモコンの を押す ー 着信を拒否する場合: リモコンの を押す

参考















- 着信許可の設定(「すべての番号を許可」⇔「登録番号のみを許可」の切り替え)は Quad-X 本体ボタンでも操作できます。(38 ページ)

⇒ [着信許可番号] 設定

Quad-X が着信を許可する電話番号の設定をおこないます。電話番号は 50 件まで登録できます。

- (1)  で [着信許可番号] を選択し、 を押します。
[着信許可番号] 一覧が表示されます。この一覧では、現在登録されている電話番号が確認できます。
- (2)   で電話番号が登録されていない項目番号、または登録されている電話番号で変更したい番号を選択し、 を押します。
- (3) 3-1. 電話番号が登録されていない項目番号を選択した場合
 ~  で着信を許可する電話番号を入力し、 を押します。
3-2. すでに電話番号が登録されている項目番号を選択した場合
 - 1)   で [編集] を選択し、 を押して入力されている電話番号を消去します。
 - 2)  ~  で着信を許可する電話番号を入力し、 を押します。
[着信許可番号] 一覧に戻ります。

参考





- 登録済みの電話番号と同じ電話番号を登録することはできません。
- 登録した電話番号を削除するときは
 - 1)   で [着信許可番号] 一覧から削除したい電話番号を選択し、 を押します。
 - 2)  で [削除] を選択し、 を押します。
確認画面が表示されます。
 - 3)  で [はい] を選択 (「●」を移動) し、 を押します。
電話番号が削除されます。
- 登録した電話番号との通話状態を確認するときは
 - 1)   で [着信許可番号] 一覧から通話状態を確認したい電話番号を選択し、 を押します。
 - 2)  で [発信] を選択し、 を押します。
確認画面が表示されます。
 - 3)  で [はい] を選択 (「●」を移動) し、 を押します。
発信が開始されます。
- 着信許可番号の登録は Quad-X 本体ボタンでも操作できます。(38 ページ)



⇒ [通話時間制限] 設定

携帯電話との通話時間制限の設定をおこないます。

注意点

- Quad-Xからの発信（センサー発信、アラーム発信などの自動発信を含む）および着信許可設定の〔手動〕による通話では、この制限は適用されません。

- (1) ▼ で [通話時間制限] を選択し、 を押します。
[通話時間制限] 設定画面が表示されます。
- (2) ▲ ▼ および  ～  で携帯電話との通話時間の設定をして、 を押します。










設定	設定内容
しない	通話時間の制限は設けません。
する	通話時間を制限します。設定時間が経過すると、自動的に通話が切断されます。 【時間設定】  ～  で制限時間（1～99分）を入力します。









⇒ [着信許可時間] 設定

携帯電話からの着信を許可する時間の設定をおこないます。

注意点

- Quad-X からの発信（センサー発信、アラーム発信などの自動発信を含む）および着信許可設定の [手動] による通話では、この制限は適用されません。

- (1)  で [着信許可時間] を選択し、 を押します。
[着信許可時間] 設定画面が表示されます。
- (2)     および  ~  で着信を許可する時間の設定をして、 を押します。









設定	設定内容
設定しない	着信を許可する時間の制限は設けません。
設定する	着信を許可する曜日と時間を制限します。設定した曜日の時間以外は Quad-X と通話することができません。 【曜日設定】   で着信を許可する曜日を選択します。  で「許可する」を選択（  を移動）します。 【時間設定】  ~  で開始 / 終了時間を入力します。 (項目の移動は   を押します)

参考

- 通話中に、設定した着信許可時間から外れると、通話が切断されてしまいます。
(例えば、許可時間を「12 時 00 分～18 時 30 分」と設定すると、18 時 30 分になった時点で通話が切断されます)
- 日付をまたぐ時間の設定もできます。(例えば、許可時間を「20 時 00 分～8 時 00 分」と設定すると、翌日までの設定となります)

⇒ [短縮番号] 登録

リモコンの   に電話番号を割り当てます。

- (1)  で [短縮番号] を選択し、 を押します。
[短縮番号] 画面が表示されます。
- (2)  に割り当てる場合は [01] を、 の場合は [02] を選択し、 を押します。
- (3)  ~  で電話番号を入力して、 を押します。

「センサー発信」設定メニュー








センサー発信
⇒ 発信
発信先
センサー入力トリガー
動き検出感度
検出画像表示
発信許可時間
リダイヤル回数




⇒ [発信] 設定

センサーによる自動発信の設定をおこないます。

注意点













- 発信先が登録されていないと、本設定項目は選択できません。(発信先の登録については、下記 [発信先] 設定をご覧ください)

- (1)  で [発信] を選択し、 を押します。
[発信] 設定画面が表示されます。
- (2)     で自動発信の設定を選択(「●」を移動)して、 を押します。

設定	設定内容
しない	センサーによる自動発信はおこないません。
する	センサーによる自動発信の設定をおこないます。 【条件設定】   で発信の条件を選択します。  で「する」を選択(「●」を移動)します。

⇒ [発信先] 設定

センサー発信する電話番号の設定をおこないます。電話番号は5件まで登録できます。変化が感知されたときに、まず「01」から発信されます。「01」の携帯電話が通話中などの理由で通話できなかった場合に、「02」の番号へ発信されることとなります。

- (1)  で [発信先] を選択し、 を押します。
[発信先] 一覧が表示されます。この一覧では、現在登録されている電話番号が確認できます。
- (2)  で電話番号が登録されていない項目番号、または登録されている電話番号で変更したい番号を選択し、 を押します。
- (3) 3-1. 電話番号が登録されていない項目番号を選択した場合
 ~  で発信する電話番号を入力し、 を押します。
3-2. すでに電話番号が登録されている項目番号を選択した場合
 - (1)  で [編集] を選択し、 を押して入力されている電話番号を消去します。
 - (2)  ~  で発信する電話番号を入力し、 を押します。
[発信先] 一覧に戻ります。

参考

- 登録済みの電話番号と同じ電話番号を登録することはできません。
- 登録した電話番号を削除するときは
 - 1) で [発信先] 一覧から削除したい電話番号を選択し、 を押します。
 - 2) で [削除] を選択し、 を押します。確認画面が表示されます。
 - 3) で [はい] を選択（「」を移動）し、 を押します。電話番号が削除されます。
- 登録した電話番号との通話状態を確認するときは
 - 1) で [発信先] 一覧から通話状態を確認したい電話番号を選択し、 を押します。
 - 2) で [発信] を選択し、 を押します。確認画面が表示されます。
 - 3) で [はい] を選択（「」を移動）し、 を押します。発信が開始されます。
- 発信先の登録は Quad-X 本体ボタンでも操作できます。（39 ページ）

⇒ [センサー入力トリガー] 設定（発信の条件が「センサー入力検出」の場合）

検出するセンサーの状態の設定をおこないます。

- (1) で [センサー入力トリガー] を選択し、 を押します。
[センサー入力トリガー] 設定画面が表示されます。
- (2) でセンサーの状態を設定して、 を押します。

設定	設定内容
自動	センサーによる自動発信の設定を「する」にした時点の状態から、センサーの接続状態が変化したときに発信します。
ショート	センサーの接続がショートに変化したときに発信します。
オープン	センサーの接続がオープンに変化したときに発信します。

⇒ [動き検出感度] 設定 (発信の条件が「動き検出」の場合)

検出する感度の設定をおこないます。

- (1) で [動き検出感度] を選択し、 を押します。
[動き検出感度] 設定画面が表示されます。
- (2) で対象となる映像入力、 で検出する感度レベルを低 - 高の5段階で選択 (「|」を移動) して、 を押します。

注意点

- 感度のレベルは、検出する目的に応じて設定してください。(実際に検出したい状況を作って、感度のレベルを設定することをおすすめします) なお、感度のレベルは [動き検出感度] 設定画面の「確認」で確認できます。例えば、入力2に接続されているカメラに映る画像の変化を検出すると、「確認」の「2」が反応 (白く反転) します。

動き検出感度	
	低 高
⇒ 入力 1	-- ---
入力 2	-- ---
入力 3	-- ---
入力 4	-- ---
確認	1 2 3 4

⇒ [検出画像表示] 設定 (発信の条件が「動き検出」の場合)










通話開始時、動きを検出した時点の画像を携帯電話に表示する設定をおこないます。








- (1) で [検出画像表示] を選択し、 を押します。
[検出画像表示] 設定画面が表示されます。
- (2) で対象となる映像入力、 で設定を選択 (「●」を移動) して、 を押します。

設定	設定内容
する	動きを検出した時点で静止し、通話開始時には静止した状態の画像を表示します。 (なお、静止状態を元に戻すときは、携帯電話のいずれかのボタンを押します)
しない	動きを検出しても静止せず、通話開始時にはその時点の画像を表示します。

⇒ [発信許可時間] 設定

Quad-X からのセンサー発信を許可する時間の設定をおこないます。






- (1)  で [発信許可時間] を選択し、 を押します。
[発信許可時間] 設定画面が表示されます。
- (2)     および  ~  で発信を許可する時間の設定をして、 を押します。

設定	設定内容
設定しない	センサー発信を許可する時間の制限は設けません。
設定する	センサー発信を許可する曜日と時間を制限します。設定した曜日の時間以外は Quad-X から発信することができません。 【曜日設定】   でセンサー発信を許可する曜日を選択します。  で「許可する」を選択（「●」を移動）します。 【時間設定】  ~  で開始と終了時間を入力します。 (項目の移動は   を押します)

⇒ [リダイヤル回数] 設定

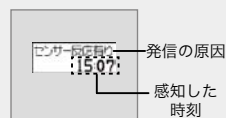
発信先が通話中や圏外などの理由で通話できなかった場合に、一定時間（約 3 分）においてリダイヤルする回数（0 ~ 10 回）の設定をおこないます。

参考

- 発信先が複数登録されている場合は、すべての電話番号と通話できなかったときに再度初めの電話番号からリダイヤルすることになります。
- (1)  で [リダイヤル回数] を選択し、 を押します。
[リダイヤル回数] 設定画面が表示されます。
 - (2)  ~  でリダイヤルする回数を入力し、 を押します。

● 携帯電話側の表示について

センサー発信による Quad-X からの電話を携帯電話が着信した場合、通話開始直後に携帯電話に右のようなメッセージを表示して、発信の原因を通知します。



「アラーム発信」設定メニュー




















アラーム発信
⇒ 発信
発呼信
リダイヤル回数

⇒ [発信] 設定

アラームによる自動発信の設定（曜日、時刻）をおこないます。曜日、時刻の組み合わせは 12 パターンまで設定できます。











注意点

- 発信先が登録されていないと、本設定項目は選択できません。（発信先の登録については、次ページ [発信先] 設定をご覧ください）











- (1)  で [発信] を選択し、 を押します。
[発信] 一覧が表示されます。この一覧では、現在登録されているアラーム設定が確認できます。
 - (2)   でアラーム設定が登録されていない項目番号、または登録されているアラーム設定で変更したい番号を選択し、 を押します。
各項目の詳細画面が表示されます。
 - (3) 3-1. アラーム設定が登録されていない項目番号を選択した場合
 - 1)  で「設定する」を選択し、 ～  で発信する発信時刻を入力します。
 - 2)   で発信する曜日、 で「する」を選択（「●」を移動）して、 を押します。
 - 3-2. すでにアラーム設定が登録されている項目番号を選択した場合
 -   で変更したい部分を選択、  および  ～  で設定を変更して、 を押します。
- [発信] 一覧に戻ります。

⇒ [発信先] 設定

アラーム発信する電話番号の設定をおこないます。電話番号は1件のみ登録できます。






- (1)  で [発信先] を選択し、 を押します。
[発信先] 設定画面が表示されます。
- (2) 2-1. アラーム発信先の電話番号が登録されていない場合
 ~  でアラーム発信する電話番号を入力して、 を押します。
- 2-2. 発信先の電話番号が登録されている場合
 - 1)  で [編集] を選択し、 を押して入力されている電話番号を消去します。
 - 2)  ~  で電話番号を入力し、 を押します。
[発信] 一覧に戻ります。

参考

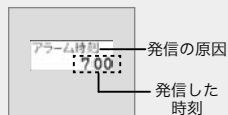
- 登録した電話番号を削除するときは
 - 1)  で [削除] を選択し、 を押します。
確認画面が表示されます。
 - 2)  で [はい] を選択 (「」を移動) し、 を押します。
電話番号が削除されます。
- 登録した電話番号との通話状態を確認するときは
 - 1)  で [発信] を選択し、 を押します。
確認画面が表示されます。
 - 2)  で [はい] を選択 (「」を移動) し、 を押します。
発信が開始されます。

⇒ [リダイヤル回数] 設定

発信先が通話中や圏外などの理由で通話できなかった場合に、一定時間 (約3分) をおいてリダイヤルする回数 (0 ~ 10回) の設定をおこないます。

- (1)  で [リダイヤル回数] を選択し、 を押します。
[リダイヤル回数] 設定画面が表示されます。
- (2)  ~  でリダイヤルする回数を入力し、 を押します。

- 携帯電話側の表示について
アラーム発信による Quad-X からの電話を携帯電話が着信した場合、通話開始直後に携帯電話に右のようなメッセージを表示して、発信の原因を通知します。





- アラーム発信先との通話中にアラーム発信時刻になった場合は、アラーム発信は無効となり通話をそのまま継続します。

「外部制御」設定メニュー

外部制御
⇒ 通話連動制御
パルス出力
カメラ
カメラプリセット



⇒ 【通話連動制御】設定

外部機器が接続されている制御出力端子ごとに、通話開始 / 終了時の外部機器の動作設定をおこないます。

- (1)  で [通話連動制御] を選択し、 を押します。



[通話連動制御] 設定画面が表示されます。

- (2)   で対象となる出力、  で設定を選択（「●」を移動）して、 を押します。








設定	設定内容
しない	携帯電話の通話開始 / 終了時には、外部機器に対する操作は おこないません。
する	携帯電話との通話開始 / 終了に連動して、外部機器を操作 (ショート / オープン) します。
通話後オープン	携帯電話との通話開始時は、外部機器に対して操作は おこないませんが、通話を終了してから一定時間経過すると外部 機器をオープンします。 この場合は、  ～  で外部機器をオープンするまでの時 間 (0 ～ 99 分) を入力してください。

⇒ 【パルス出力】設定

外部機器が接続されている制御出力端子ごとに、パルス出力時の外部機器の動作設定をおこないます。

- (1)  で [パルス出力] を選択し、 を押します。

[パルス出力] 設定画面が表示されます。

- (2)   で対象となる出力、  でパルスを出力したときの外部機器の動作を選択（「●」を移動）し、 ～  で設定した動作と逆の状態になるまでの時間 (0.1 秒～9.9 秒の 0.1 秒単位) を入力して、 を押します。

⇒ 【カメラ】設定

⇒ 【カメラプリセット】設定

キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する場合に設定します。50 ページをご覧ください。

「履歴」メニュー

Quad-X の発信、着信履歴を表示します。

▼ で [発信履歴] または [着信履歴] を選択し、決定 を押します。
発信履歴または着信履歴が表示されます。

参考

- 履歴表示されている電話番号を ▲ ▼ で選択し、決定 を押すと発信することができます。

「管理」設定メニュー

管理	
⇒	電話番号表示
	日付・時刻
	リモコンID
	DTMF操作
	DTMF制限
	デフォルト映像入力
	通話中アイコン表示
	鏡像

⇒ [電話番号表示]

現在装着されているカード型 FOMA の電話番号を表示します。

▼ で [電話番号表示] を選択し、決定 を押します。
電話番号が表示されます。

⇒ [日付・時刻] 設定

Quad-X の日付と時刻を設定します。20 ページをご覧ください。

⇒ [リモコンID] 設定

Quad-X 本体の ID 番号を設定します。

(1) ▼ で [リモコンID] を選択し、決定 を押します。

[リモコンID] 設定画面が表示されます。

(2) ① ~ ⑤ で Quad-X 本体の ID 番号を入力し、決定 を押します。

⇒ [DTMF操作] 設定

携帯電話からの DTMF 操作と同様の操作がリモコンでできるようになります。
(Quad-X が待受状態のときのみ)








▼ で [DTMF操作] を選択し、決定 を押します。

表示装置左上に「DTMF 操作中」と表示され、リモコンのボタンを組み合わせ
て DTMF 操作ができるようになります。

組み合わせるボタンは携帯電話からの操作時と同じです。(45、46、51 ページ)

⇒ [DTMF 制限] 設定

携帯電話からの DTMF 操作ができないように設定します。






- (1)  で [DTMF 制限] を選択し、 を押します。
[DTMF 制限] 設定画面が表示されます。
- (2)   で DTMF 操作を制限したい項目を選択し、 で「制限する」を選択（ を移動）して、 を押します。

注意点

- センサー発信先として登録されている電話番号との通話時は、センサー発信機能の設定（「しない」 / 「する」）および [DTMF 制限] の設定（「制限する」 / 「制限しない」）に関係なく、常に DTMF 操作することができます。






⇒ [デフォルト映像入力] 設定

Quad-X との通話開始時、携帯電話に表示される映像入力を設定します。

- (1)  で [デフォルト映像入力] を選択し、 を押します。
[デフォルト映像入力] 設定画面が表示されます。
- (2)   で映像入力を選択し、 を押します。
（「なし」は、前回の通話時に最後に表示していた映像入力が表示されます）









⇒ [通話中アイコン表示] 設定

Quad-X との通話中、携帯電話に表示されるメニューやメッセージの表示 / 非表示を設定します。

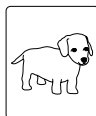
- (1)  で [通話中アイコン表示] を選択し、 を押します。
[通話中アイコン表示] 設定画面が表示されます。
- (2)   で設定を選択し、 を押します。

⇒ [鏡像] 設定

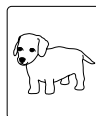
入力された映像を鏡像モードに設定します。

- (1)  で [鏡像] を選択し、 を押します。
[鏡像] 設定画面が表示されます。
- (2)   で設定する映像入力、  で設定を選択（ を移動）して、 を押します。

オン（鏡像）



オフ（正常）

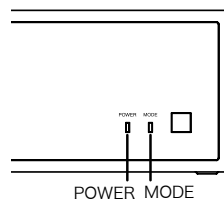
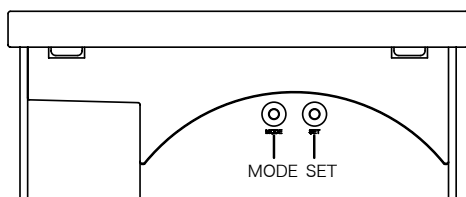


4-2. Quad-X 本体ボタンを使う

設定項目一覧

Quad-X 本体ボタンの操作では次の設定ができます。
表示装置が接続されていないなど、設定メニューが使用できないときや、Quad-X の設定を初期設定に戻したいときにご利用ください。

ボタン	設定内容
MODE	－（3秒以上押し）着信許可の設定ができます。 －センサー発信機能をオン / オフできます。
SET	－着信許可番号を登録できます。 －（3秒以上押し）センサー発信の発信先を設定できます。
MODE と SET	（同時に3秒以上押し） Quad-X の設定をすべて初期設定（工場出荷状態）に戻します。



着信許可の設定

着信許可の設定を「すべての番号を許可」⇔「登録番号のみを許可」(24 ページ)に切り替えます。

Quad-X が待受状態のときに、「MODE」ボタンを 3 秒以上押します。

着信許可番号の登録

着信許可の設定が「登録番号のみを許可」の場合の Quad-X に着信を許可する電話番号を登録します。

- (1) 携帯電話の発信者番号通知設定を「通知設定」にします。
(設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)

注意点

- 着信許可の設定が「登録番号のみを許可」の場合、発信者番号通知設定が「非通知設定」にしてあると、Quad-X に着信できません。
- (2) 携帯電話からカード型 FOMA へ「テレビ電話」をかけます。
「テレビ電話」は通常の「音声通話」とかけかたが異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
 - (3) カード型 FOMA が着信中 (MODE ランプ：緑色点滅) に「SET」ボタンを押します。
電話をかけた携帯電話の番号が着信許可番号として Quad-X に登録されます。
(その後、MODE ランプが赤色点灯に変わり、通話が始まります)

注意点

- 電話番号は 50 件まで登録できます。登録が 50 件を超えると、本体ボタンの操作では新たに番号を登録することができません。次に新しい電話番号を登録するときは、Quad-X の設定を初期設定に戻す (次ページ参照) か、設定メニューで登録した番号を削除する (25 ページ) 必要があります。

センサー発信先の設定

- (1) 携帯電話の発信者番号通知設定を「通知設定」にします。
(設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)
- (2) 発信先に設定する携帯電話からカード型 FOMA に「テレビ電話」をかけます。
- (3) 通話中に「SET」ボタンを 3 秒以上押します。
MODE ランプが 3 秒間オレンジ色に変わり、通話中の番号が発信先の番号として登録されます。
(その後、電話を切ってください)

注意点

- 本体ボタンの操作では、電話番号はセンサー [発信先] 一覧の「01」に登録されます。この操作で新しい電話番号を登録するときは、上記を繰り返して上書きします。
(設定メニューを使うと、発信先は 5 件まで登録することができます。28 ページ参照)

センサー発信機能のオン / オフ設定

センサー発信機能の設定をオン（有効）⇔オフ（無効）に切り替えます。

Quad-X が待受状態のときに、「MODE」ボタンを押します。

- 機能をオンにすると、POWER ランプが緑色に変わります。
- 機能をオフにすると、POWER ランプがオレンジ色に変わります。

注意点

- 事前にセンサー発信先が設定されていない場合は、機能をオンにすることはできません。
- 機能をオフにしても登録した発信先の電話番号は削除されません。

設定を初期設定に戻す

Quad-X の設定をすべて初期設定（工場出荷状態）に戻します。

(登録した電話番号もすべて消去されてしまいますのでご注意ください)

Quad-X が待受状態のときに、「MODE」ボタンと「SET」ボタンを同時に 3 秒以上押します。

MODE ランプがいったん赤色になった後、MODE ランプが緑色、POWER ランプがオレンジ色になり、初期設定に戻ります。

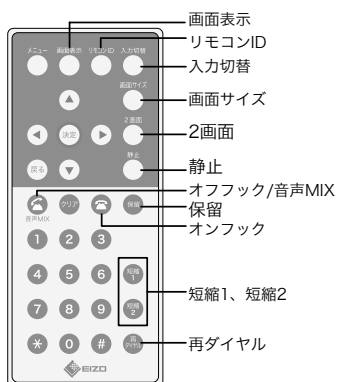
4-3. リモコンの機能ボタンを使う

注意点

- あらかじめ、表示装置の電源を入れ、Quad-X を接続した入力に切り替えておいてください。
- リモコンと Quad-X 本体の ID 番号が一致していないと、Quad-X を操作することができません。(41 ページ「リモコン ID」を参照し、ID 番号が一致していることを確認してください)

機能一覧

リモコンでは次の機能が操作できます。
各ボタンの操作方法などについては次ページ以降をご覧ください。



リモコンボタン	機能説明
画面表示	表示装置に日付や時刻、通話先、通話時間を表示します。
リモコン ID	表示装置にリモコンと Quad-X 本体の ID 番号を表示します。
入力切替	通話先に送信する映像入力を切り替えます。
画面サイズ	表示装置に表示される画面を切り替えます。
2 画面	表示装置に表示される子画面を消去 / 表示します。
静止	表示装置に表示される通話先からの映像を静止 / 解除します。
オフフック / 音声 MIX	一発信 / 通話を開始します。 イヤホンマイクなどのハンズフリー機器が接続してある場合は、送信音声を切り替えます。
保留	映像・音声の送信を一時停止 / 再開します。
オンフック	通話を終了します。
短縮 1、2	あらかじめ設定された電話番号を呼び出します。
再ダイヤル	前回発信した電話番号を呼び出します。(自動発信を除く)
◀ ▶	明るさ設定画面を表示します。

画面表示

画面表示

ボタンを押すと、表示装置に日付や時刻、通話先、通話時間が表示されます。情報の表示中に再度ボタンを押すと、表示が消えます。

- 待ち受け中
(設定メニュー非表示中)
- 通話中

2 0 0 6 年 x x 月 x x 日 (x) x x 時 x x 分

テレビ電話中 0 9 0 x x x x x x x x
通信時間 x 分 x x 秒




リモコンID

リモコンID

ボタンを押すと、表示装置にリモコンと Quad-X 本体の ID 番号が表示されます (3 秒間)。

2 0 0 6 年 x x 月 x x 日 (x) x x 時 x x 分
A i r V i e w I D : 1
リ モ コ ン I D : 1

両者の ID 番号が一致していないと、リモコンで Quad-X を操作することができません。ID 番号が一致していない場合は、次の手順でリモコンの ID 番号を変更してください。

一  を押しながら、 ~  を押す

- リモコン ID 活用例

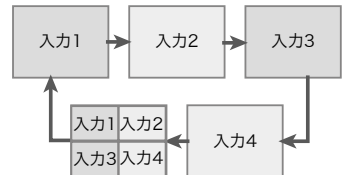
Quad-X を複数台設置しているとき、そのなかの特定のものだけ操作したい場合に、操作したい Quad-X とリモコンの ID 番号を一致させ、その他の Quad-X の ID 番号を異なるものに設定すると、特定の Quad-X のみ操作できるようになります。
(Quad-X 本体の ID 番号の変更方法については、35 ページをご覧ください)

入力切替

入力切替

ボタンを押すごとに、携帯電話に送信する映像入力を「入力 1 → 入力 2 → 入力 3 → 入力 4 → 全入力 (4 分割画面) …」の順序で切り替えます。

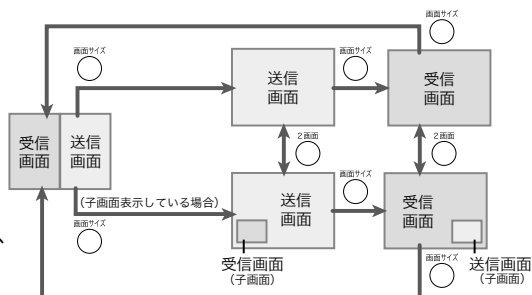
なお、信号が入力されていないポートはスキップされます。



画面サイズ 画面サイズ

通話中にこのボタンを押すと、表示装置に表示される画面を「送信 / 受信画面の2画面→送信画面のみ→受信画面のみ…」の順序で切り替えます。

[○、○を押したときの画面表示]



2画面 2画面

通話中にこのボタンを押すと、表示装置に表示される子画面を消去 / 表示します。

静止 静止

通話中にこのボタンを押すと、表示装置に表示された通話先からの映像を静止します。再度ボタンを押すと、静止を解除します。

オフフック / 音声 MIX

音声MIX

電話を発信するときや、通話を開始するときを使用します。

電話番号の呼び出しには次の3通りあります。

- 0 ～ 9 で電話番号を入力する
- 電話 または 電話 を押して登録してある電話番号を呼び出す
- 電話 を押して、前回発信した電話番号を呼び出す

電話番号を呼び出した後、電話 を押すと、発信を開始します。

また、Quad-X のイヤホンマイク端子にイヤホンマイクなどのハンズフリー機器が接続してある場合、ボタンを押すごとに、通話先への送信音声を「ハンズフリー機器の音声のみ⇄外部音声入力とのMIX」に切り替えます。

保留 保留

通話中にこのボタンを押すと、通話先への映像・音声の送信を一時停止します。停止中は代替画像（右図）を通話先に送信し、音声は消音されます。

再度ボタンを押すと、映像・音声の送信を開始します。



オンフック

通話を終了します。



短縮 1、短縮 2



あらかじめ設定された電話番号を呼び出します。
(設定は、設定メニューでおこないます。27 ページ)


再ダイヤル

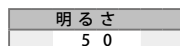
前回発信した電話番号を呼び出します。(自動発信を除く)

明るさ設定

待受状態のときに  または  を押すと、明るさ設定画面が表示されます。

  で明るさを設定します。

設定後は、 を押して確定します。



5. 携帯電話からの Quad-X 操作

5-1. 携帯電話から Quad-X に接続した機器の映像を見る

1. 着信許可の設定に応じて、次の手順に従ってください。

- 着信許可の設定が「すべての番号を許可」の場合
携帯電話からカード型 FOMA へ「テレビ電話」をかけます。
- 着信許可の設定が「登録番号のみを許可」の場合
 - 1) 携帯電話の発信者番号通知設定を「通知設定」にします。
(設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)
 - 2) 携帯電話からカード型 FOMA へ「テレビ電話」をかけます。

注意点

- 発信者番号通知設定が「非通知設定」にしてあると、Quad-X に着信できません。
- 携帯電話の電話番号が Quad-X に登録されていない場合は、通話することができません。着信許可番号として登録する必要があります。(25、38 ページ)
- 着信許可の設定が「手動」の場合
携帯電話からカード型 FOMA へ「テレビ電話」をかけます。

注意点

- この場合、Quad-X 側で通話を開始する操作をしないと通話することができません。(24 ページ)

「テレビ電話」は通常の「音声通話」とかけかたが異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2. Quad-X の MODE ランプが赤色点灯に変わり、通話が開始されます。

携帯電話に Quad-X に接続した機器の映像が表示されます。
(Quad-X に表示装置が接続されている場合は、通話が開始されると表示装置にも Quad-X が送信 / 受信している映像が 2 画面表示されます)
通話を終了するときは電話を切ってください。

注意点



- 映画や DVD など、著作権保護された映像は、Quad-X に入力しても、携帯電話への送信および表示装置への表示はできません。

5-2. 携帯電話から通話中の Quad-X を操作する

操作方法 1 (DTMF 操作)

携帯電話のダイヤルボタンを組み合わせて押し、DTMF 送信することで Quad-X を操作できます。

(DTMF 送信機能については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)

設定		ダイヤルボタン
視点移動※	表示されている画面のズーム倍率 (1 ~ 2 倍) とズーム後の視点位置を変更できます。 画面をズームすると、携帯電話にズーム倍率と現在の表示範囲、移動可能方向が表示されます。	ズームイン / ズームアウト ③ / ⑨
		上 / 左 / 右 / 下 ② / ④ / ⑥ / ⑧
		ホームポジション ⑤
明るさ設定	送信されてくる映像の明るさを変更できます。	最小 * - ⑤ - ①
		小 * - ⑤ - ②
		中 * - ⑤ - ③
		大 * - ⑤ - ④
		最大 * - ⑤ - ⑤
鏡像設定	携帯電話に表示される映像の向きを変更できます。	オン (鏡像) * - ⑥ - ①
	鏡像  正常  オフ (正常) * - ⑥ - ②	
入力切替	Quad-X に複数の機器が接続されている場合、携帯電話に表示される映像を切り替えることができます。操作するたびに「入力 1 → 入力 2 → 入力 3 → 入力 4 → 4 分割画面 → …」と切り替わります。なお、信号が入力されていないポートはスキップされます。	⑦
センサー発信機能設定	センサー発信機能の設定を、オン (有効) / オフ (無効) できます。	オン * - ⑦ - ①
		オフ * - ⑦ - ②
制御出力設定	制御出力 1 に接続された機器を操作します。	オン * - ① - ①
		オフ * - ① - ②
		パルス出力 * - ① - ③
	制御出力 2 に接続された機器を操作します。	オン * - ② - ①
		オフ * - ② - ②
		パルス出力 * - ② - ③
	制御出力 3 に接続された機器を操作します。	オン * - ③ - ①
		オフ * - ③ - ②
		パルス出力 * - ③ - ③

設定		ダイヤルボタン
制御出力 設定	制御出力 4 に接続された機器を 操作します。	オン * - 4 - 1
		オフ * - 4 - 2
		パルス出力 * - 4 - 3

※ キヤノン製カメラ (VC-C50i/VC-C50iR) / ソニー製カメラ (EVI-D70/EVI-D100/
RPU-S5N) を使用する場合は 51 ページを参照ください。

注意点

- 携帯電話に表示されている画面が「4 分割画面」のときには、設定対象を特定できないため、明るさおよび鏡像設定の操作はできません。

入力中の操作をキャンセルするには

0 を押して、DTMF 送信してください。

携帯電話からの操作結果を確認するには

携帯電話をハンズフリー設定しておく、と、操作の結果が音で確認できます。(視点移動、入力切替を除く)

- Quad-X の設定が完了すると、「ピー」という音がします。
- Quad-X の設定が変更できなかった場合は、「ピッピッ」という音がします。その場合は、再度設定してください。

現在の Quad-X の設定を携帯電話側で確認するには

次のダイヤルボタンを押して、DTMF 送信してください。

明るさ / 鏡像 / 入力切替 / ナイトモード / センサー発信設定 / 制御出力の設定が確認できます。

— * - 9

注意点

- Quad-X 本体の [DTMF 制限] 設定 (36 ページ) が制限「しない」に設定されている項目のみが表示されます。
- 「ナイトモード」は、Quad-X にキヤノン製カメラ (VC-C50i/VC-C50iR) / ソニー製カメラ (EVI-D70/EVI-D100) が接続されている場合にのみ表示されます。
- 「センサー発信設定」は、発信先に登録されている番号との通話中にのみ表示されます。

参考

- Quad-X 本体の設定メニューで、携帯電話からの DTMF 操作を制限することができます。(36 ページ [DTMF 制限] 設定)
- DTMF 操作は Quad-X の設定メニューでもできます。(35 ページ)

ヘルプメニューの表示

ダイヤルボタンを2つ以上組み合わせて操作する場合、次のようなときに入力するダイヤルボタンがヘルプメニューとして携帯画面に表示されます。

- 1番目のボタンが押されてから、一定時間が経過したとき
 - すでにヘルプメニューが表示されているときに、次のボタンの入力を必要とする項目が選ばれたとき
- ① を押すと、ヘルプメニューが終了します。

● ヘルプメニュー

[一番目に * を押した場合]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		

1: 制御出力 1 操作
2: 制御出力 2 操作
3: 制御出力 3 操作
4: 制御出力 4 操作
5: 明るさ設定
6: 鏡像設定
7: 発信設定
8: ナイトモード設定
9: 設定一覧の表示
0: キャンセル

[一番目に # を押した場合]

1	2	3
4	5	—
—	—	—
0		

1: プリセット 1 操作
2: プリセット 2 操作
3: プリセット 3 操作
4: プリセット 4 操作
5: プリセット 5 操作
0: キャンセル

※ 表示している画面が「4分割画面」になっていたり、DTMF 制限 (36 ページ) されていて操作できない項目は表示されません。

携帯電話に表示されるメニューやメッセージを消去するには

- ① を押して、DTMF 送信してください。
(再度、① を押して DTMF 送信すると、表示されます)

操作方法2 (DTMF 送信機能を搭載していない場合)

携帯電話がDTMF送信機能を搭載していない場合は、ダイヤルボタンを直接押すことでQuad-Xを操作できます。

ただし、この方法を利用する場合は、携帯電話側で次の設定をしておいてください。(設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)

- ハンズフリーに設定する
- ボタン確認音(ボタンを押したときの音)がなるように設定する

注意点

- 携帯電話の周辺が騒がしかったり、Quad-Xに接続した表示装置やマイクからの音声が入ったりした場合、Quad-Xの操作が正常におこなえないことがあります。

Quad-Xの画質設定

携帯電話の画像品質設定機能を使って、次の設定ができます。
(画像品質設定機能については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)

標準	画質、動きを標準で表示します。
画質優先	画質を重視して表示します。
動き優先	動きを重視して表示します。

参考

- Quad-Xの画質は、携帯電話の画像品質設定に連動して設定されます。
- この設定は画像品質を通話中に設定できる場合にのみ有効です。

6. 活用事例

6-1. キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する

以下のキヤノン製 / ソニー製カメラを使用すると、カメラのズームや向きなども携帯電話から操作することができます。

注意点

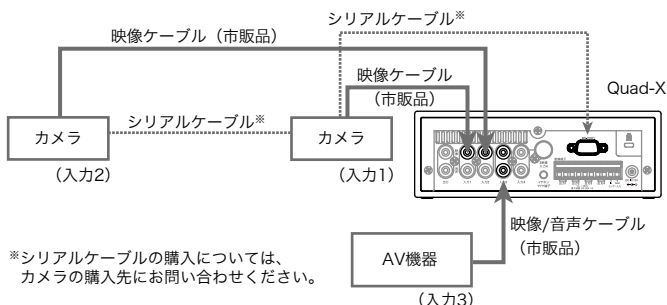
- 対応しているカメラは下記のカメラとなります。
 - キヤノン製カメラ・・・VC-C50i/VC-C50iR
 - ソニー製カメラ・・・EVI-D70/EVI-D100/RPU-S5N

カメラの接続および携帯電話からのカメラ操作以外は、上記以外のカメラを使用する場合と同様です。

- Quad-X にソニー製カメラ EVI-D70 を接続して利用する場合は、EVI-D70 のポーレートを「9600/秒」に設定してください。ポーレートの設定については、EVI-D70 の取扱説明書をご覧ください。

カメラを接続する

1. 映像入力端子とカメラを映像ケーブルで接続します。
 2. シリアルコネクタ (RS-232C) とカメラをシリアルケーブルで接続します。
(※シリアルケーブルの購入については、カメラの購入先にお問い合わせください)
- カメラを複数台接続するときは
Quad-X との接続距離が近いカメラから入力1に接続してください。
Quad-X は接続距離が近いカメラから入力1、入力2と認識します。



- AV 機器と併用するときは
カメラを Quad-X に接続距離が近い方から入力 1 に接続し、その後、AV 機器を接続してください。

注意点

- 電源を入れる順序について
初めにカメラの電源を入れ、次に Quad-X の電源を入れてください。または、カメラと Quad-X の電源を同時に入れてください。カメラより先に Quad-X の電源が入ると、Quad-X からカメラを制御することができません。






カメラを設定する

キヤノン製 / ソニー製カメラを使用する場合は、設定メニューの [外部制御] で次の設定をおこなってください。設定メニューの操作については、21 ページ「操作のしかた」をご覧ください。

外部制御
⇒ 通話連動制御
パルス出力
カメラ
カメラプリセット
















⇒ [カメラ] 設定

Quad-X に接続するカメラのメーカーを設定します。

- (1)  で [カメラ] を選択し、 を押します。
[カメラ] 設定画面が表示されます。
- (2)   で接続するカメラのメーカーを選択し、 を押します。

⇒ [カメラプリセット] 設定

カメラが撮影する位置を設定します。ポジションは、映像入力ごとに「ホームポジション」と「プリセット 1～5」の 6 箇所設定できます。(ソニー製カメラ RPU-S5N は、「ホームポジション」の設定のみになります。)

- (1)  で [カメラプリセット] を選択し、 を押します。
[カメラプリセット] 設定画面が表示されます。
- (2)   で設定する映像入力を選択し、 を押します。
- (3)   で対象となる設定を選択し、 を押します。
ポジション設定画面が表示されます。
- (4) 表示装置に映る画面を見ながら、    で撮影するポジションを決めて、 を押します。
( を押すとズームイン、 を押すとズームアウトすることができます)

Quad-X との通話終了時、カメラはホームポジションの位置に自動的に戻ります。なお、カメラがホームポジションに戻るまでの約 10 秒間は、「動き検出機能」は停止します。

携帯電話からカメラを操作する

キヤノン製 / ソニー製カメラの場合には次の操作ができます。操作方法などは、45 ページ「5-2. 携帯電話から通話中の Quad-X を操作する」をご覧ください。

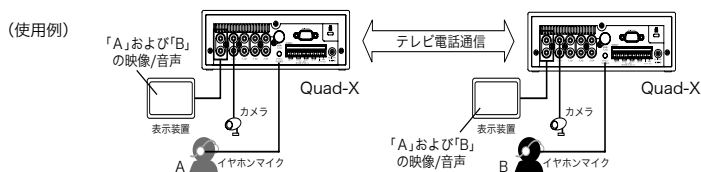
設定		ダイヤルボタン	
カメラのズーム / 向き移動	接続したカメラのズーム倍率と向きを変更できます。	ズームイン / ズームアウト	③ / ⑨
		上 / 左 / 右 / 下	② / ④ / ⑥ / ⑧
		ホームポジション	⑤
ナイトモード設定	<ul style="list-style-type: none"> ● キヤノン製カメラの場合 ナイトモード（赤外光撮影により、暗闇でも白黒映像として被写体を確認可能）に設定できます。 ● ソニー製カメラ (EVI-D70/ EVI-D100) の場合 カメラのバックライト機能をオン / オフできます。 	オン	* - ⑧ - ①
		オフ	* - ⑧ - ②
プリセット表示切替	設定メニューで設定した位置（プリセット 1～5）に、画面を切り替えます。	プリセット 1	# - ①
		プリセット 2	# - ②
		プリセット 3	# - ③
		プリセット 4	# - ④
		プリセット 5	# - ⑤
画面モード切替 (ソニー製カメラ RPU-S5N のみ)	画面モードを切り替えます。		⑦

参考

- カメラの機能や仕様などについては、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、カメラのデジタルズームには対応していません。
- キヤノン製 / ソニー製以外のカメラの場合は、ズーム後の視点位置を変更することはできませんが、カメラの向きを移動することはできません。(45 ページ)
- DTMF 操作は Quad-X の設定メニューでもできます。(35 ページ)

6-2. テレビ会議システム

2 台の Quad-X を組み合わせて使用することで、テレビ会議に活用できます。



7. 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

症状	原因・対処
Quad-X と通話できない	<input type="checkbox"/> 携帯電話から「テレビ電話」をかけていますか。（「テレビ電話」のかけかたについては携帯電話の取扱説明書を参照してください） <input type="checkbox"/> Quad-X の着信許可の設定が「登録番号のみを許可」（24 ページ）の場合、下記の点を確認してください。 ・ 携帯電話から発信者番号通知設定を「通知設定」にして電話をかけていますか。「非通知設定」で電話をかけていると通話できません。 <input type="checkbox"/> 他の人が通話中ではありませんか。 <input type="checkbox"/> Quad-X のある場所が、携帯電話のサービスエリア外、または電波の届かない場所ではありませんか。
Quad-X が待受状態にならない - POWER ランプが赤色に点滅し、MODE ランプが消灯している場合	<input type="checkbox"/> 本製品に対応しているカード型 FOMA を使用していますか。（16 ページ） <input type="checkbox"/> 電源プラグを電源コンセントから抜き、もう一度接続してみてください。 <input type="checkbox"/> FOMA カードがカード型 FOMA に正しく挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> カード型 FOMA が PC カードスロットに正しく挿入されていますか。（19 ページ）
- POWER ランプと MODE ランプが赤色に点滅している場合	<input type="checkbox"/> 下記の手順で Quad-X の設定を初期設定に戻し、電源を入れなおす必要があります。 （初期設定に戻した場合、すべての設定が工場出荷状態に戻り、電話番号などの情報もすべて消去されますのでご注意ください） 1. 本体の「MODE」ボタンと「SET」ボタンを同時に 3 秒以上押しします。 2. POWER ランプが赤色点滅、MODE ランプが消灯となります。 3. いったん Quad-X の電源プラグを電源コンセントから抜き、再度電源プラグを電源コンセントに接続します。
携帯電話に映像や音声を送られてこない	映画や DVD など、著作権保護された映像や音声は、Quad-X に入力しても携帯電話への送信および表示装置への表示はできません。
携帯電話から Quad-X の設定が変更できない	<input type="checkbox"/> 携帯電話が DTMF 送信機能を搭載していますか。 <input type="checkbox"/> 携帯電話が DTMF 送信機能を搭載していない場合、下記の点を確認してください。（48 ページ） ・ 携帯電話がハンズフリー設定になっていますか。 ・ 携帯電話のボタン確認音（ボタンを押したときの音）が鳴るように設定されていますか。 ・ 携帯電話の周辺が騒がしい場合、設定が変更できないことがあります。 <input type="checkbox"/> 電波状態が悪い場合には設定を変更できないことがあります。
Quad-X の電源が突然切れる	<input type="checkbox"/> 適切な温度条件の中で使用していますか。（55 ページ「仕様」） <input type="checkbox"/> Quad-X 動作中は、内部の温度上昇を抑えるためファンが回ります。ファンが停止したり、内部の温度が上がりすぎると Quad-X の電源が自動的に切れます。 再度電源を入れてもファンが動かなかったり、電源がすぐ切れる場合には、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ一覧

Quad-X 使用中に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。
表示されたエラーメッセージに応じた対処をおこなってください。

● 表示装置側に表示

メッセージ	原因・対処
「カードが挿入されていません カードを挿入して電源を入れ直 すまで機能が制限されます」	Quad-X 起動時、カード型 FOMA が Quad-X に挿入されていない場合に表示されます。 カード型 FOMA を挿入して電源を入れ直してください（電源プラグを電源コンセントから抜き、再度接続します）。
「メニュー操作はできません。 カードを挿入して電源を入れ直 してください」	カード型 FOMA を挿入せずに Quad-X を起動して、リモコンの「メニュー」を押した場合に表示されます。 カードを挿入して電源を入れ直してください。
「電話番号が取得できません カードを確認して電源を入れ直 してください」	Quad-X 起動時、カード型 FOMA に FOMA カードが挿入されていない場合に表示されます。 カード型 FOMA に FOMA カードを挿入して電源を入れ直してください。
「サポート外のカードが挿入さ れています カードを確認して電源を入れ直 してください」	Quad-X 起動時、Quad-X が対応していないカード型 FOMA が挿入されている場合に表示されます。 カード型 FOMA を確認して電源を入れ直してください。
「カードが抜去されました カードを挿入して電源を入れ直 してください」	Quad-X 使用中に、カード型 FOMA が何らかの原因で抜けた場合に表示されます。 カードを挿入して電源を入れ直してください。
「コピー禁止信号を検出しました 映像入力×は表示できません」	Quad-X に入力した映像信号にコピー禁止信号が含まれている場合に表示されます。この映像を携帯電話から見ることはできません。
「この番号は登録できません 既に登録されています」	各設定で電話番号を登録中に、すでに登録されている電話番号を設定しようとした場合に表示されます。
「内部エラー 電源を入れ直してください」	Quad-X で内部エラーが発生した場合に表示されます。 電源を入れ直してください。
「内部メモリエラー メモリをクリアしてください」	Quad-X で内部メモリエラーが発生した場合に表示されます。 待受状態のときに、本体の「MODE」ボタンと「SET」ボタンを同時に 3 秒以上押して、Quad-X の設定を初期設定に戻してください。（すべての設定が工場出荷状態に戻りますのでご注意ください）

● 携帯電話側に表示

メッセージ	原因・対処
「そのコマンドは正しくありま せん」	携帯電話から DTMF 送信機能を使って Quad-X を操作する際に、間違った組み合わせのボタン操作をおこなった場合に表示されます。 正しい組み合わせのダイヤルボタンを押して DTMF 送信してください。
「操作できません」	携帯電話から DTMF 送信機能を使って Quad-X を操作する際に、現在の設定で使用できない機能进行操作しようとした場合に表示されます。 Quad-X 側の設定を確認してください。

8. お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については下記注意点を参照してください。）

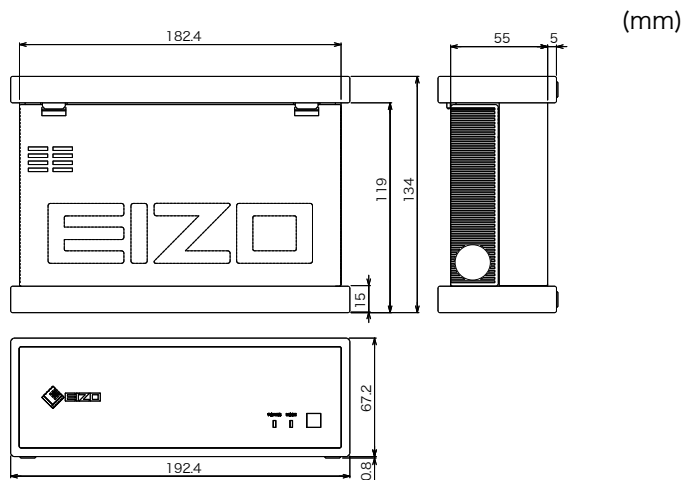
注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットをいためるため絶対に使用しないでください。

9. 仕様

映像	画像解像度	QCIF (176 × 144 ピクセル)
	画像伝送速度	最大 15 フレーム / 秒
通信	動画像通信方式	3G-324M 準拠
	動画像通信速度	64kbps または 32kbps
インターフェイス	PC カードスロット	PCMCIA Type II (68 ピン) × 1
	S 映像 / 映像入力端子	S 端子 × 1 / RCA × 4
	映像出力端子	RCA × 1
	音声入力端子	RCA × 4 (モノラル入力)
	音声出力端子	RCA × 1 (モノラル出力)
	イヤホンマイク入力	3 極 Φ 2.5 ミニジャック × 1
	シリアルコネクタ	RS-232C (D-Sub 9 ピン) × 1
	制御端子	センサー入力 (2 ピン) × 1 制御出力 (2 ピン) × 4
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz	
消費電力 (AC)	最大 : 15W 待受時 : 10W	
寸法 (本体)	192.4mm(幅) × 68mm(高さ) × 134mm(奥行き)	
質量 (本体)	825g	
環境条件	動作温度範囲	5°C ~ 35°C
	輸送および保存温度範囲	-20°C ~ 60°C
	相対湿度範囲	30% ~ 80% R.H. (非結露状態)
適合規格	TÜV/S、VCCI クラス A	

外形寸法



10. アフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、裏表紙に記載してあるエイゾーサポートにお問い合わせください。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の底面部のラベル上に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- 本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出しください。
＊ なお、詳しい情報については、弊社のホームページもあわせてご覧ください (<http://www.eizo.co.jp>)。

- 法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369 (専用)	076-274-2416
月曜日～金曜日 (祝祭日及び弊社休日を除く) 9:30～17:30	24時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)

■製品に関するお問い合わせ先

EIZOコンタクトセンター 0120-956-812
受付時間：月～金 9：30～18：00（祝祭日及び弊社休業日を除く）

■故障／修理に関するお問い合わせ先

エイゾーサポート北陸

〒926-8566 石川県七尾市藤橋町ア部8-2

TEL (0767) 52-7700 FAX (0767) 52-0202

営業時間：月～金 9：30～17：30（祝祭日及び弊社休業日を除く）



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://www.eizo.co.jp/>

環境保護のため、再生紙を使用しています。

第2版 2006年7月 Printed in Japan.

00N0L227B1